

世界から見る和歌山の魅力



- ①「有田川町は、みかん畑や川など自然が豊かで景色が本当にきれいだ」とアダムさん。冬になると近所の人からみかんをもらうなど、和歌山の温かな人柄も魅力だと話す。②醸造所内で語らうアダムさんと、スタッフのギャレス・ウィリアムズさん。海外や県外からの移住者が集い、ビールの醸造やプロデュースを行っている。③IBCなど、世界的なビールの品評会で何度も受賞している同醸造所のビール。「大手のビールと同様に、クラフトビールももっと当たり前の選択肢になれば」と語る。地元にある日本酒蔵とコラボした、新しいビールをテイasting。



NOMCRAFT Brewing
(ノムクラフト・ブルーイング)

住所／有田郡有田川町長田546-1
電話／070-4211-5114



有田川町の「白紙の水」で個性あるビールづくりに挑戦

有田川町にあるクラフトビール醸造所「NOMCRAFT Brewing」。ヘッドブルーを務めるのが、アメリカ・シカゴ出身のアダム・バランさんだ。

2011年頃来日し、英会話講師として働く中、ポートランド出身のベンさんと出会ったことが転機に。「二人ともクラフトビールが好きで、アメリカでは自家醸造していたほどでした。やがて二人は日本でブルワリーを作るという夢を抱き、拠点を探す中で出会ったのが、有田川町のまちづくりプロジェクト。ベンさんの故郷ポートランドの街づくりをモデルにしていたという縁もあり、2019年に保育所跡地の二室でビールづくりがスタートした。

有田川町の魅力は、ビールづくりに欠かせない水にある。「不純物がなく、それゆえに何にでも合う。まさに、白紙のような水で、どんなビールでも作れるんです」とアダムさん。その水をベースに、これまで柑橘やぶどう山椒など、和歌山ならではの素材を活かした個性豊かなビールを生み出してきた。

「今後も有田川町で新たな味を追求し続けたい。また、NOMCRAFTがビールを中心に人をつなぐコミュニティになれば」と思いを語ってくれた。



- ①和歌山市にある直営のタッブルーム。ラベルデザインが印象的な缶も購入可能。②常時6種類、アメリカンIPAを中心に、多彩な樽生のクラフトビールを楽しむことができる。